

市民生きもの調査員を募集しています

協議会では、随時、「市民生きもの調査員」を募集しています。

市民調査員に登録いただいた方には、協議会が取り組む生きもの調査活動などへの協力をお願いとともに、協議会の活動状況について情報提供いたします。

ご登録いただける場合は、①連絡先メールアドレス、②住所、③氏名、④所属(NPO等に所属している場合)、⑤学生・社会人・その他の別、⑥参加を希望する活動を記入の上、メールにてお申し込みください。ご家族での登録も可能です。

* PDFファイルでの情報提供となるため、パソコンアドレスでの登録をお勧めします。

応募先 bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

外来生物の情報求む！

アライグマ、ミシシッピアカミミガメ、外来スイレンの生息情報を募集しています。

発見した場合は、協議会事務局まで情報（種類、発見日時、発見場所、写真など）をお寄せください。

いただいた情報は、今後、調査および防除対策を行う上での参考といたします。

*すぐに駆除を行うわけではありませんので、ご了承ください。

■アライグマ



アライグマの尾にはリング状の模様があります。

■ミシシッピアカミミガメ



ミシシッピアカミミガメの頭部には赤い模様があります。

■外来スイレン



初夏から秋にかけて水面に花を咲かせます。

編集後記

協議会事務局の事務所は、天白区植田川沿いの、緑に囲まれた場所にあります。旧天白中継所（ごみ処理施設）の施設を利用しておらず、今後、改装工事を行い、今年度中に完了する予定です。

施設内には、調査・保全活動の拠点として必要な設備や、協議会関係の会議や打ち合わせに使用できるスペースもあります。



●発行元 なごや生物多様性保全活動協議会(事務局:名古屋市環境局環境企画課分室)

住所▶名古屋市天白区元八事五丁目230番地 TEL▶052-831-8104 FAX▶052-839-1695

e-mail▶bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp 担当▶佐藤・牧野

●発行日 平成23年8月3日(水)

*「みんなで守ろう なごやの生きものたち」は、協議会の活動についてみなさまにお知らせするため、不定期で発行していきます。

このニュースレターは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

みんなで守ろう なごやの生きものたち

vol.1

『なごや生物多様性保全活動協議会』を 平成23年5月15日に設立しました!!

なごや生物多様性保全活動協議会(以下「協議会」)は、「なごやに生息・生育する生物及びその環境の継続的な調査を行い、生物多様性の現状を把握するとともに、外来種の防除など身近な自然の保全を実践すること」を目的としています。

なごやの生物多様性を守り育てるため、市民・専門家・行政が協働で生きもの調査や保全活動を行っています。平成23年7月末現在、約50の団体や個人が協議会の会員となっています。



会長 滝川正子

生き物たちの声を聞き、汗と泥にまみれる現場で出会いましょう。



副会長 矢部隆

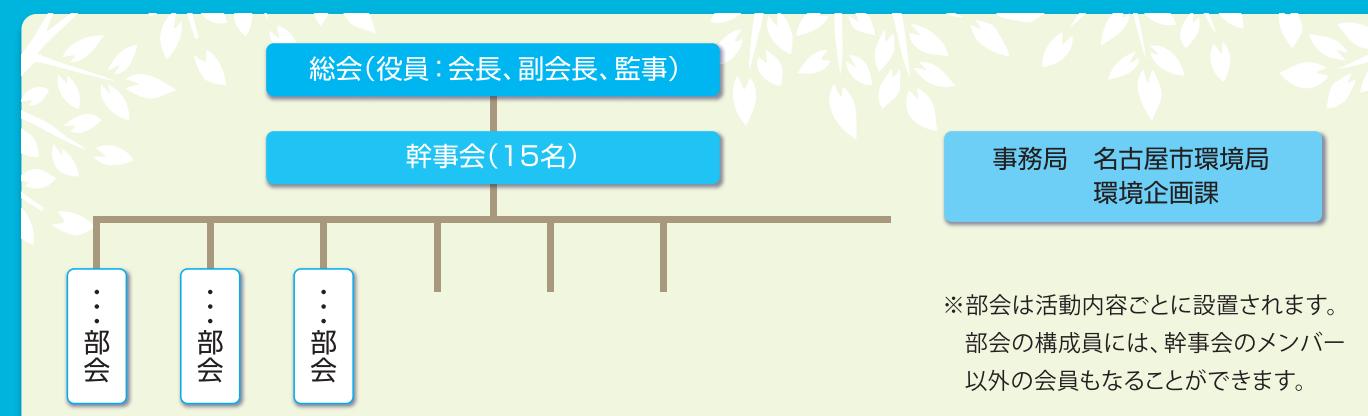
都市部でありながら豊かな生物多様性を持っている名古屋市のnatural historyが発展するよう、がんばります。



副会長 間野隆裕

皆様のお力で、名古屋市に残る生き物の未来が明るくなることを願っております。

協議会の組織は以下のとおりです。



※部会は活動内容ごとに設置されます。
部会の構成員には、幹事会のメンバー以外の会員もなることができます。

協議会の活動内容については、中面をご覧ください。



なごやの生物多様性を守り育てるために、なごや生物多様性保全協議会では、以下の内容の活動を行います。

①アライグマ対策

■アライグマの概要

原産国はアメリカ合衆国。1962年に県内の動物園から逃げ出したものが始めといわれ、さらにペットとして輸入されたものが捨てられて野生化し繁殖しました。最近、市内でも分布を広げ、目撃数や捕獲数が増加しています。外来生物法の特定外来生物に指定されています。



■課題と対策

アライグマは雑食で、前足を使って器用に餌を探すため、在来の生きものや生態系、農作物、家屋等に大きな影響を与えます。これ以上の増加と分布拡大を防ぐため、捕獲が必要です。

■今後の活動予定

足跡調査や自動撮影カメラの設置により、市内での分布状況を把握します。希少種が生息する場所を優先して、箱わなによる捕獲を実施します。



②ミシシッピアカミミガメ対策

■ミシシッピアカミミガメの概要

原産国はアメリカ合衆国。「ミドリガメ」という商品名で、1950年代後半からペットとして輸入されるようになりました。飼いきれなくなったものが野外に捨てられ、繁殖しています。



■課題と対策

在来の水生生物を捕食することや、類似した餌や住み場所を必要とする在来カメ類の減少の一因になっていることから、野外からの取り除きが必要です。

■今後の活動予定

市内の選定した河川やため池で、カゴわなによる捕獲を実施します。捕獲の困難な子ガメを捕獲するため、新しいわなを開発します。



③外来スイレン対策

■外来スイレンの概要

ヨーロッパを原産とするセイヨウスイレンなどを品種改良して作られた園芸品種です。きれいな花が咲くことから、名古屋市内のため池にも導入され繁殖しています。



■課題と対策

外来スイレンは、春先にいち早く発芽して水面を覆い尽くし他の植物の発芽や生育を阻害するなどの影響を与えています。外来スイレンの生育状況を把握するとともに、抜き取りや遮光シートの被覆による除去が必要です。

■今後の活動予定

遮光シートによるスイレン除去の効果を検証します。

外来スイレンをはじめとした、ため池に生育する外来植物の状況を調査します。

④熱田神宮の生物調査と外来生物対策

■熱田神宮の概要

1900年もの歴史を持つ熱田神宮の森は、都市開発によってその外周部が影響を受けましたが、今でも約19haの広大な森が残存し、都市に残された貴重な緑地のひとつです。過去には樹林地の植生調査が実施され、最近は動物に関する調査も少しづつ行われています。



■調査内容等

神宮内に生息する貴重な在来種の生息状況と外来種の侵入度合いを把握し、調査で採集された外来種は可能な限りの駆除を行います。また、神宮周辺の環境を把握するために気象や水質等の調査も行います。

⑤生きもの田んぼ

■生きもの田んぼの概要

生きもの田んぼは港区南陽町にあり、二方が用水に接した面積700m²余の水田です。農家の協力を得て農薬を使わずに稻づくりを行っています。名古屋市環境局では、環境学習の一環として子どもたちや市民を対象に生きもの観察会を行っています。



■調査内容等

なごやの水田地帯に生息する生物の状況を把握するため、昆虫、植物、魚類、両生類等の調査を行います。

⑥池干し



《開催場所》

大根池(天白区天白町天白公園内)

《開催日時》

平成23年11月3日(木・祝)

午前9時30分から午後3時45分(午前9時より受付)

※雨天の場合は、11月12日(土)に延期します。



■池干しの概要

本来のため池生態系を保全・再生することを目的に、在来種の保護や外来種の駆除を行います。水を抜きながら生きものを捕獲し、捕獲した生きものを在来種・外来種に選別します。外来種は取り除き、在来種は近隣の池に移して保護します。雨などで池に十分な水がたまつた後(おおよそ池干しの1ヶ月後)、保護した在来種を大根池に戻します。

その他、生物情報モニタリングデータベースの構築、協議会の活動を広報・啓発するための活動展示会、地域で取り組まれる保全活動への支援等を行います。

このような活動に参加いただける市民生きもの調査員を募集しています! 詳細は裏面をご覧ください。